



京都の特性と企業の強みを活かして顧客創造を図る事業プランを知恵ビジネスとして認定しています。

# 知恵ビジネスプランコンテスト

## 高機能炭素素材の開発

(株)大木工藝 代表取締役 大木 武彦 さん



材として可能性を感じ、継続的に炭化の研究に取り組みもうと思いい立ちました。

### 「炭素の魅力とは？」

大木 以来、弊社は「炭素」の持つ優れた組成的・化学的性質に着目して技術革新を図り、環境・医療・食料といった分野における社会

創業以来、炭素の優れた機能や効果を生かす素材開発に取り組んできた(株)大木工藝。今回の知恵ビジネスプランコンテストでは、オリジナルのフッ素DLCダイヤモンドドライクカーボン超高密度炭素素材の開発力と、その特性を生かす最終商品の企画提案力が評価されました。

### 「炭素に注目されたきっかけは？」

大木 JR退職後、塗料販売会社に勤務していましたが、趣味の絵画に樹脂コーティングしたのがきっかけで、独自のコーティング加工を施した美術工芸品の製造・販売会社を創業しました。しかし、合成樹脂は焼却廃棄が難しく、なんとか他の用途での活用が図れないか模索していました。そこで、幼少時の炭焼きの経験からヒントを得て、試しに合成樹脂を炭化してみたところ、熱伝導性に優れるなど、工業資



遠赤外線ネックレス



高密度炭素金浄水装置

しました。歯ぐきの血流をよくすることで、歯周病や口内炎の予防などの効果が期待できることから、現在、京都府立医科大学で基礎実験を進めています。また、電気自動車に搭載する非常に大きな容量の次世代蓄電池「キャパシタ」や超高密度炭素製の釜で海水を真水化する浄水装置などの研究開発も続けています。

### 「今後チャレンジしたいことは？」

大木 より積極的に情報発信することで、弊社の炭素素材を社会問題の解決に活用していただけるメーカーを発掘していきたいです。また同時に、奥深い炭素の魅力をより多くの人に知ってもらうために、日常生活で使用できるような商品、例えば、従来のカーボンファイバーとは異なる製法で作った柔らかな炭素の糸と、組紐のような京都の優れた伝統技術を組み合わせたいような商品を開発していきたいと思っています。京都商工会議所の支援に期待しています。

### 「研究開発の内容は？」

大木 こうした炭素素材の特性を生かして、歯ぐきの温熱マッサージ器具を開発



フッ素DLCガムローラー

### 〈会社概要〉

(株)大木工藝

炭素素材製品の研究開発

<http://ohki-techno.com/>

〔本社〕

滋賀県大津市中野3-4-13

☎077-549-1309

〔京都営業所〕

京都市中京区新町通夷川下

二条新町707-1

☎075-255-2418